

## 米国カリフォルニア州 サクランボの出荷シーズン開始は少し遅い予想

[FreshPlaza](#) 2025年4月7日

カリフォルニア州の早生のサクランボの状態は、今シーズンは収穫量が少ないことを示している。J&M農場兼デルタ梱包会社のジョー・カタルド氏は、「これまでの早生品種の着果量は平均より少ない。この数年はかなりの豊作が続いたが、今年は開花期の天候も不安定で、雨や強風もあれば高温の日もあり、早生品種の着果を妨げた」と言う。(以下「」は同氏の話)

現在、そのあとの品種が満開を過ぎたところで、今年は果粒が大きく高品質になると予想されている。

また、出荷シーズンの開始が1週間程度遅れると見られるが、5月5日から6月10日までの出荷量は販売促進が可能なほどまで増えると予想されている。同氏は、「一部の地域では平年並みに近いものの、(全体的に)遅れが発生している」と言い、収穫の後半には追いつく可能性があると付け加えた。

同氏はまた、太平洋岸北西部からのサクランボの出荷との重複は最小限であると予想している。「切れ目のない移行になると思う。価格が公正で、小売業者がマーケティング担当者や梱包会社と協力できる限り、過去数年間のように生産者が苦しむことはないだろう。」

**価格を上げる必要** ここ数年、サクランボの市場価格が非常に低くなっている。「収量が少なめで、収穫費用が上昇し、様々な市場状況に対処することになる今年のような年に、カリフォルニア州の出荷の終盤で価格が上がらなければ大変なことになる。」同氏は、カリフォルニア州の価格が下がると太平洋岸北西部の価格に影響を与える可能性があると付け加えた。

需要については、シーズン当初から好調と予想されているが、カリフォルニア州産のシーズンが進み、青果物売り場での競争が激化する夏になると、需要が軟化することがよくある。「小売業者が適切なタイミングで適切な販促活動を実施し、それが誰にとっても公平であれば、多くの需要があるはずだ。」

同氏は、課題の1つはカリフォルニア州の品種であると指摘している。同州には、消費者が良く知らない新しい早生品種のサクランボが多い。「そのため、消費者がサクランボを購入したが、それが好みに合わず、その品種が何であるかよく知らない場合、翌週にもう1袋買うことはないかも知れない。繰り返しの購入が必要だ。我々の最高のサクランボは、何年もの間支配的な品種となっている晩生のビング品種だと思っている。購入者達が早生品種を好まない場合、我々が最も顧客を必要とするメモリアルデー(戦没将兵追悼記念日。5月の最終月曜日)の後のビング品種の時期に彼らは戻ってこないかも知れない。ビングは最高のサクランボだが、価格は最も低い。」

執筆者: アストリッド・ファン・デン・ブローク

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)